

阪神電車 その五

阪神電車の日本一（武庫川駅）

どこにでもありそうな、ホーム長350m程度の小さな駅「武庫川駅」です。取り立てて有名な駅では有りませんが、その位置するところが日本一です。

「武庫川駅」はご承知のとおりまた、名前のとおり武庫川の上にあります。この駅は、①一級河川の上に駅構造物があること。②しかもホームが右岸から左岸まで完全に河川上に設置されていること。で、小さな河川の上をホームにしているところは多くありますが、一級河川上に、しかも完全にまたいでいるのは日本で唯一、阪神武庫川駅だけです。

「武庫川駅」の歴史は古く、阪神電車の開業と共に設置された駅ですが、当時は、武庫川の堤防の尼崎市側にありました。

開業当時は、一両編成の電車が停車するだけの駅でしたが、次第に電車の大型化、編成車両数の増加（現在は6両編成）、昭和18年武庫川線の開業、尼崎市側の用地買収の難航などなどが重なり、次第に武庫川の上へとホームを延ばしていき、ついには、完全な橋上ホームとなったのです。

最近では、近鉄との相互乗り入れのために、約15mホームの延伸工事がされています。（阪神1車両長=約19m、近鉄1車両長=約21m）

現在は、西側の改札口が利便性が高く利用者も多いようですが、駅の基点は発足当時のまま、尼崎市側の駅舎（尼崎市大庄西町1）にあります。



阪神 武庫川駅